

# やまぐち市議会だより

Yamaguchi City Assembly News

2006年11月1日●発行／山口市議会 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 TEL.083-934-2854

平成18年  
9月定例会  
[創刊号]

## 主な内容

- 9月定例会の概要…………… 2
- 委員会活動報告…………… 4
- 一般質問・質疑…………… 6
- 会派等活動報告…………… 10
- 議会からのお知らせ…………… 12
- 議会Q & A…………… 12
- 編集後記…………… 12



議会風景

ごあいさつ  
山口市議会議長 武田寿生

市民の皆様には、日頃から市議会の活動に對し、深いご理解と温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

現在、山口市は、新市の設計図ともいふべき総合計画の策定と、厳しい財政状況を乗り切るための行財政改革に取り組んでおり、私ども市議会としても市民の皆様のご意見を反映した計画・改革となるよう真剣に論議し、議会の役割と責任を果たすべく日々活動しております。

また、本市議会では「県都にふさわしい市議会」、「市民にとって頼もしく思える市議会」をめざし、議会活性化にも取り組んでおります。

この議会だよりの創刊もその一環であり、よりわかりやすい紙面と必要な情報の提供を心がけるとともに、議会を身近なものと感じていただけるよう創意工夫を重ねていくことを申し添えて、創刊のごあいさつといたします。

# 議会の概要

## 9月定例会の概要

平成18年第4回山口市議会定例会は、9月4日に召集され、9月21日までの18日間の会期で開催されました。

冒頭、渡辺市長から市政概況報告があり、総額2億1700万円余りを追加する平成18年度山口市一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案、予算6件、条例10件、事件議決23件の合計39件が上程され、各常任委員会に付託し、審査しました。

9月11日から13日までの3日間で行われた一般質問には、23人の議員が登壇しました。この一般質問では、市政全般をテーマに全部で91項目の質問が市長及び担当参与に向けられ、熱心な論戦が行われました。特に今議会の焦点となった、ぼるるプラザ山口の購



渡辺 純忠 市長

市議会の冒頭で、渡辺市長から、  
 ① 山口市集中改革プラン等の策定について  
 ② まちづくり審議会について  
 ③ 山口郵便貯金地域文化活動支援施設「ぼるるプラザ山口」に関する経緯と今後の取り組みについての3点について報告がありました。

## 市政概況報告から

- 委員長 藤村 和男
- 副委員長 杉山 眞士
- 委員 氏永 東光
- 委員 小林 訓二
- 委員 竹中 一郎
- 委員 原田 清
- 委員 藤本 義弘
- 委員 右田 芳雄
- 委員 重見 秀和
- 委員 須藤 果一
- 委員 佐田 誠二

## 企業会計決算審査特別委員会を設置

9月19日に企業会計決算審査特別委員会を開き、平成17年度山口市水道事業会計決算の審査を行いました。

入、山口学芸大学への補助金の件に関しては、6会派中、5会派が取り上げさまざまな角度から議論を深めました。

最終日には、上程されていた39議案について採決を行い、全て可決することに決しました。

なお、医療の充実をめざす山口県連絡会から提出された「医師・看護体制の充実で、安全・安心の医療の確立を求める請願」については、賛成少数で不採択とすることと決しました。

## 平成18年第4回山口市議会定例会会期日程表

月日	曜	議事日程
9月4日	月	議席の変更の件 会期の決定 市政概況報告 議案第1号から議案第39号まで及び諮問第1号(提案説明)
11日	月	一般質問・質疑
12日	火	一般質問・質疑
13日	水	一般質問・質疑 諮問第1号(討論・採決) 企業会計決算審査特別委員会の設置
14日	木	教育民生委員会 経済建設委員会
15日	金	総務委員会 環境水道委員会
19日	火	企業会計決算審査特別委員会
21日	木	議案第1号から議案第39号まで及び請願受理番号6(委員長報告、討論、採決) 議員派遣の件

## 平成18年第5回山口市議会臨時会会期日程表

月日	曜	議事日程
10月5日	木	会期の決定 議案第15号(提案説明、質疑、討論、採決) 議案第1号から議案第14号まで(提案説明、質疑) 一般・特別会計決算審査特別委員会の設置

まず、①山口市集中改革プランの策定については、総務省の指針に基づき、民間委託等の推進など七つの項目を中心に今後取り組むべき施策、その財政効果を市民にわかりやすく示すことを目的とするもので、今年度末を目途に策定することとしている「山口市行政改革大綱」の先行的な部門計画として位置づけていく。

また、「山口市定員適正化計画」、「山口市財政運営健全化計画」もあわせて策定し業務の民営化等による職員削減目標数や将来的な財政の収支見通しに基づく財政健全化への道筋などを明らかにすることとしており、行財政改革に向けた今後の取り組みを円滑かつ計画的に進めていくと報告されました。

最後に、③ぼるるプラザ山口については、中心市街地の都市機能のあり方、購入した場合の諸施策実現のための利活用案の集約など多くの課題があり、対応の方向性を検討してきていくと報告されました。

# 臨時会の概要

10月5日に1日限りの日程で臨時議会が招集されました。冒頭に市長から、議案第15号山口市特別職等の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する説明の前に、本市の職員が引き起こした飲酒運転に関する事件について報告と陳謝がありました。

議案第15号は、現在、一律10パーセント減額している特別職等の給料月額を10月5日から11月30日までの期間、市長についてはそれに10%上乗せして20%を、助役については5%上乗せして15%を減額するもので、同日、全会一致で可決しました。

その後、議案第1号から議案第14号について説明があり、合併後（平成17年10月～平成18年3月）の平成17年度山口市一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、下水道事業特別会計、土地取得事業特別会計、駐車場事業特別会

計、小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、交通災害共済事業特別会計、国民宿舎特別会計、特別林野特別会計のそれぞれの歳入歳出決算を審査するために特別委員会を設置するとともに、これに付託することに決定し閉会しました。

## 一般・特別会計決算審査特別委員会を開催

10月10日から12日までの三日間にわたり、一般・特別会計決算審査特別委員会を開催し、それぞれの決算について審査を行いました。審査結果は、12月定例会で報告します。

委員長	藤村 和男
副委員長	杉山 眞士
委員	氏永 東光
委員	小林 訓二
委員	竹中 一郎
委員	原田 清
委員	藤本 義弘
委員	右田 芳雄
委員	重見 秀和
委員	須藤 泉一
委員	佐田 誠二

議案番号	議案の審議結果	付託先	賛成・反対・欠席 会派名(人数)※議長は除く							議決結果	
			新世紀クラブ(14)	県都クラブ(6)	山口未来クラブ(4)	日本共産党(3)	公明党(3)	市民クラブ(2)	山本会(1)		
1	平成18年度山口市一般会計補正予算(第3号)	総教経	○	○	○	×	○	○	-	可決	
2	平成18年度山口市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	教	○	○	○	○	○	○	-	可決	
3	平成18年度山口市介護保険特別会計補正予算(第1号)	教	○	○	○	○	○	○	-	可決	
4	平成18年度山口市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
5	平成18年度山口市国民宿舎特別会計補正予算(第1号)	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
6	平成18年度山口市特別林野特別会計補正予算(第1号)	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
7	山口市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
8	山口市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
9	山口市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	環	○	○	○	○	○	○	-	可決	
10	山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例	教	○	○	○	×	○	○	-	可決	
11	山口市交通災害共済条例を廃止する条例	教	○	○	○	○	○	○	-	可決	
12	山口市企業立地促進条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	×	○	○	-	可決	
13	山口市営住宅条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
14	山口市阿知須定住促進住宅条例を廃止する条例	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
15	山口市水道事業給水条例の一部を改正する条例	環	○	○	○	○	○	○	-	可決	
16	山口市消防団の設置等に関する条例等の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
17	山口県市町村災害基金組合の解散に関する協議について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
18	山口県市町村災害基金組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
19	山口県自治会館管理組合の解散に関する協議について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
20	山口県自治会館管理組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
21	山口県市町総合事務組合の設立について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
22	字の区域の変更について	教	○	○	○	○	○	○	-	可決	
23	住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について	教	○	○	○	○	○	○	-	可決	
24	市営土地改良事業の施行について	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
25	市営土地改良事業の施行について	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
26	市営土地改良事業の計画の変更について	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
27	山口市公共下水道小郡浄化センターの建設工事(改築)委託に関する協定の締結について	環	○	○	○	○	○	○	-	可決	
28	(仮称)山口市リサイクルセンター(破碎・選別処理施設)建設工事の請負契約の締結について	環	○	○	○	○	○	○	-	可決	
29	矢原市営アパートB棟増築工事(第2工区)の請負契約の締結について	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
30	矢原市営アパートB棟増築工事(第3工区)の請負契約の締結について	経	○	○	○	○	○	○	-	可決	
31	阿東町と山口市との間における消防事務の委託に関する規約の一部変更について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
32	山口市と宇部市との間における消防事務の委託に関する規約の一部変更について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
33	山口市と防府市との間における消防事務の委託に関する規約の一部変更について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
34	高規格救急自動車の取得について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
35	高規格救急自動車の取得について	総	○	○	○	○	○	○	-	可決	
36	平成17年度山口市水道事業会計決算の認定について	企	○	○	○	×	○	○	-	認定	
37	平成18年度山口市一般会計補正予算(第2号)に関する専決処分について	総環	○	○	○	○	○	○	-	承認	
38	平成18年度山口市下水道事業特別会計補正予算(第2号)に関する専決処分について	環	○	○	○	○	○	○	-	承認	
39	平成18年度山口市水道事業会計補正予算(第1号)に関する専決処分について	環	○	○	○	○	○	○	-	承認	
諮問											
諮問第1 人権擁護委員の候補者の推薦について											
請願			本	○	○	○	○	○	○	-	異議なし
医師・看護体制の充実で、安全・安心の医療の確立を求める請願											
教			×	×	×	○	×	○	-	不採択	
臨時会	15	山口市特別職等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	本	○	○	○	○	○	○	-	可決



# 委員会活動報告

## 総務委員会

幹也 (委員長)  
原 ひろ子 (副委員長) 幹男 眞士  
武田 寿生 野村 杉山  
伊藤 青波 須藤 和  
重見 秀和 和  
藤村 和

「ばるる」プラザ山口の取得の適否について、委員会としても対応協議

日本郵政公社から本市に打診のあった「ばるる」プラザ山口の取得について、

委員からは、この施設がもとも国として地域の文化活動を支援していくということで設置されたものであるにもかかわらず、郵政民営化の取り組みとして不採算部門が整理されることにより、本市が重要な政策判断を余儀なくされる結果になっているとの指摘がありました。また、施設の政策的な位置付けや、財政状況を踏まえた上での費用対効果について、議会としても執行部と十分に議論を交わし、取得するかどうかにつ

いての結論を得る必要があるとの意見の一致をみました。



ばるるプラザ山口

また、来年4月に開校予定の山口学芸大学に対する施設整備補助金については、補助金交付の考え方についての問いに対し、大学側が行う事業について、公益性の観点から、県内他市の私学助成の事例を参考に政策決定したとの答弁がありました。

その他、総務省から示された地方行政改革に関する指針を受けて、本市において作成された「山口市集中改革プラン」の素案についても、推進項目ごとの内容

の詳細について、掘り下げた議論が交わされました。

なお、本委員会に付託された15件の議案のうち、議案第1号は賛成多数で、また、これを除くその他の議案については全会一致で可決されました。

## 教育民生委員会

悟 (委員長) 祐児 敦典  
幸江 (副委員長) 山根 隆次  
入江 勇 有田 村上  
平田 幹夫 菊地

### 生涯学習施設の整備

小学校等の教育施設や生涯学習施設の整備等に関連した質問が出されました。

そのうち公民館改修の年次の整備方針に対しては、来年度に生涯学習の推進基本計画を策定する予定である。ただし、旧山口市地域は公民館・出張所が併設であり、これまでの行政改革の項目としてあがっている公民館・出張所の機能のあり方も含め、生涯学習施設全体についての整備の考えをまとめたこととの答弁がありました。

### 住居表示整備事業

吉敷地区の住居表示整備

事業における今後の見通しについての質問には、対象である吉敷地区の地元検討会に町名案の再確認をお願いしているところであり、地元の考えを踏まえ再度審議会を開催することとなる。

そして、その審議会での答申を受け、早ければ12月議会で議案上程となるが、地名を残したいという意見と新しい町名にしたいという二つの意見があるため、審議会での審議を十分に尽くしていただく必要があり、その結果によるとのことでありました。

### 認定こども園

本年10月開始の認定こども園について県が定める基準が国の指針を下回ることはないかという質問には、県からの具体的な情報をつかんではいませんが、国において職員配置等の基準を



る程度具体的に示されているので県が大幅に下回るような基準を設定するとは考えにくい、との考えが示されました。

なお、本委員会に付託された7件の議案については、議案第10号は賛成多数で、これを除くその他の議案については、全会一致で可決、また「医師・看護体制の充実で、安全・安心の医療の確立を求める請願」については、賛成少数で不採択となりました。

## 環境水道委員会

訓二 (委員長) 義弘 勉  
清 (副委員長) 藤本 山本  
原田 清 藤本 山本  
伊藤 斉 龍川 俊昭  
原田 欣知 山本  
佐田 誠二

### 家庭ごみ指定収集袋の使用期限延長

議案第9号は、合併前の各市町で使用されていた可燃ごみの指定収集袋の使用期限を延長するため、条例の一部を改正しようとするものです。

改正に至った背景についての委員からの質問に対し、執行部からは、現時点ではまだ相当量の旧指定収

集袋が使われており、各家庭にもかなりの数があると考えられることから、検討の結果、市民の利便性を図るため、当分の間使用期限を延長し、引き続き使用できるようにしたいとの説明がありました。

### (仮称)山口市リサイクルセンター建設工事

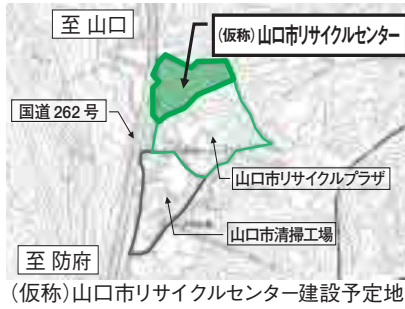
同センターは、循環型社会の構築に向け、ごみの破碎・選別といった中間処理を行うため、山口市宮野下地内に建設が予定されている施設です。

議案第28号の建設工事の請負契約について、各委員から質問や意見が出され、8月に行われた入札で、工事の請負金額が予定価格に対して大幅な減額が生じる結果となったことについての質問に対し、落札業者による企業努力と社会経済情勢によるものと考えられるとの説明がされました。また、山口市のごみの状況を調査し、市が必要とする性能を規定した上で、施工業者の提案により入札、契約する性能発注方式の詳細について議論を深めました。各委員からは、請負金額

※認定こども園：幼稚園と保育所の機能を一元化した総合施設を都道府県が認定する園のことで、保護者の就労状況に関らず、ゼロ歳児から就学前までの子どもを対象に子育て支援を総合的に担う。

に関する懸念が示され、執行部に対して、今後予定される詳細設計や実際の工事の着工段階において、適正な工事の施工や監理、監督を十分に行うよう要望する意見が出されました。

なお、本委員会に付託された7件の議案については全会一致で可決されました。



(仮称)山口市リサイクルセンター建設予定地

### 経済建設委員会

東光 (委員長)  
兼村 幹男 (副委員長)  
浅原 利夫・竹中 一郎  
右田 芳雄・山田 昌治  
新宅儀次郎・河合 喜代  
須子藤吉朗

### 農地・水・環境保全向上対策

農地や農業用水等の資源を次の世代へ健全な状態で引き継ぐために地域の共同活動を支援するこの対策について、現在の取り組み状

況や対象となる活動内容など細部にわたり議論を交わしました。

現在、秋穂二島地区の「元気村二島東」がモデル事業として取り組まれており、そこに示された活動内容が平成19年度から本格導入される際の活動指針の基本となる見込であることや、支援の要件などについて説明がありました。

なお、委員からは市としてこの対策に関する情報は早く地域に伝え、普及啓発を行うこと。また、街中の農業、農地をどう守っていくかも今後議論する必要があるとの意見がありました。



ほ場整備された秋穂二島地区

### 新山口駅ターミナルパーク整備構想

これから策定される基本構想について議論を交わす中で、対象とするエリアや山口らしさの表現、また、市民参画体制に関する委員

からの質問に対し、執行部から、新山口駅は市及び県の玄関口であり、交通の交流拠点として、高速交通体系の要としてのインフラ整備により機能を充実していく中で、エリアについては小郡都市核と関連するため連携を図り、関係者及び市民の意見を広く聞きながら進めていくとの説明がありました。

なお、委員からは、最も重要なことは機能であり若い人たちの意見も取り入れながら策定すること。また、山口らしさという付加価値を付ければ経費もかかるので慎重に取り組むべきとの意見がありました。

本委員会に付託された12件の議案のうち、議案第12号は賛成多数で、その他の議案については全会一致で可決されました。

### 企業会計決算審査特別委員会

(委員長) 訓二 清雄  
(副委員長) 藤村 幹男  
和男 (委員) 小林 芳一  
眞士 (委員) 原田 泉一  
山永 (委員) 右田 須藤  
杉山 (委員) 義弘 須藤  
氏永 (委員) 秀和 誠二  
竹中 (委員) 重見 佐  
藤本 (委員) 重見 佐  
重見 (委員) 佐

### 企業会計決算審査

企業会計決算審査特別委

員会は、公営事業である山口市水道事業の決算を審査するために設置された特別委員会です。

審査した議案は、新山口市が発足した平成17年10月1日から平成18年3月末日までの半年間の水道事業会計決算の認定に関わるものであり、委員会において慎重に審査しました。

まず、合併により一つの水道局となったことに伴い、どのような経営効果があったかという質問に対し、平成18年度が新市移行後初めての通年予算となるため、平成17年度の決算の状況だけでは明確な傾向はつかめないものの、経営成績を明らかにする収益的収支の状況において約1億5千万円の利益が上がったことについて、合併効果を含むものとの見解が示されました。

このほか、旧市町の水道事業と広域水道企業団、山口秋穂水道企業団の事業統合によって旧団体間で販売、購入していた水に係る経費や、一般会計の繰入金が見直され、収益的収入における一般会計からの他会計補助金の一部が不要になった

ということについての報告がありました。

なお、本委員会に付託された議案については、賛成多数により可決されました。

### 議会運営委員会

(委員長) 也児一 誠  
(副委員長) 幹祐 果  
(委員) 成田 藤  
利夫 (委員) 依須 佐  
利夫 (委員) 依須 佐  
欣 (委員) 秀和 誠二  
原田 (委員) 重見 佐  
伊藤 (委員) 重見 佐  
田中 (委員) 重見 佐  
有田 (委員) 重見 佐  
重見 (委員) 重見 佐  
藤村 (委員) 重見 佐  
武田 (委員) 重見 佐  
山根 (委員) 重見 佐

### 議会活性化について視察を実施

このたびの視察は、従来から取り組んできた議会改革の一環として、合併後の新しい議会が市民にとってより身近で、よりわかりやすいものとするため、8月2日～4日、福島県いわき市、埼玉県草加市、東京都町田市の一問一答方式を中心に議会運営と議会活性化について、行政視察を実施しました。

一問一答方式とは、議員からの複数の質問事項に、執行部が一括して答弁するのではなく、一つの質問項目ごとに答弁する方式です。いわき市では、議会改革調査検討委員会を設置し、一般質問の活性化に向け、

一問一答方式を導入することとし、東日本初の導入であったため、報道で大きく取り上げられ、議会のPRにつながったとのことでありました。

また、草加市、町田市とも一問一答方式を導入されたことにより、議会審議が活発になったとのことでありました。

なお、一問一答方式以外にも多くの議会活性化の取り組みについて調査を行ったところでもあります。本市議会におきましても

議会活性化の取り組みを進めるため、議会運営委員会に「議会審議」と「議員活動」の二つの分科会を設置し、市民の皆さんにとって頼もしく思える議会づくりをめざし、鋭意、調査、研究することとしております。



町田市での視察



# 一般質問・質疑

一般質問・質疑は、議案及び市政全般について市長など執行機関の考え、方針を問いただすものです。質問時間は議員一人あたり60分(質問のみ)で、9月定例会では23人の議員が登壇しました。各議員の質問と市長をはじめとする答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載順序は登壇順です。)

## 山口学芸大学の助成について

新世紀クラブ 原田 清

**問** 山口芸術短期大学に4年制の教育学部を併設する計画があり、この施設整備補助金として1億1千万円が補正予算に計上されている。これまでの市への要望の経緯、まちづくりの理念との整合性を問う。

**答** 本年4月、学校法人宇部学園から資料提供と説明を受け、5月に助成の要望書を受け取った。

私学の大学設置は本市では初めてであり、財政負担、地域振興の観点からの検討、全県的な波及効果の関係から、県との連携を図るなどして7月10日に支援の政策決定をした。

政策との合致は①創造力のある人材育成の具現化に資するものである②学術研究や生涯教育の場として重要な役割が期待できる③山口大学、県立大学、山口学芸大学の連携により特色を生かした学園都市づくりが期待できるなど総合的な判断と、公共、公益的な観点からの補助である。

## 本年度事業の進捗状況と今後の取り組み

県都クラブ 伊藤 青波

**問** 本年度は、新しい山口市のまちづくりの一步を踏み出すいろいろな事業があるが、事業の推進に当たっては、それぞれの地域の方々の意見をしっかりと聞いてもらいたいと思う。

**答** 地域のプロジェクト推進に当たっては、地域の特色に合った施策展開について地域ごとのまちづくり審議会を通じて十分審議していただきたい。

**問** 旧島地・旧八坂・旧袖野中学校の今後の活用について問う。

**答** 旧島地・旧八坂中学校は、それぞれ島地・八坂小学校の施設として活用することも踏まえ検討されており、旧袖野中学校については、今後学校施設として活用される予定がないことから、普通財産への所管がえも含めて検討されている。

地域の方々や学校関係者と十分協議を重ね、年内には教育委員会の方針決定がなされ、市長部局とも調整がなされると思う。

## 企業誘致について

山口未来クラブ 重見 秀和

**問** 官民での企業誘致委員会を設立し、地元企業にも企業誘致の情報提供を積極的にお願いするべきではないか。

**答** 本市では誘致企業や県、商工会議所などと「山口市立地企業連絡協議会」を組織し情報交換を行っている。今後更なる体制充実を図り企業誘致の情報収集機関としたい。

**問** 企業誘致報奨金制度を創設するべきではないか。

**答** 県と一体となって企業誘致を推進するため、当面は県の補助制度を活用し、必要に応じて市独自の展開も検討していきたい。

### その他の質問

○山口市行政改革大綱について

・市民との共通理解

○合併問題について

・阿東町への対応

○子育て支援について

・出生率向上  
・多子世帯への支援  
・山口学芸大学との連携

## 障害者自立支援法の影響

日本共産党 河合 喜代

**問** 障害者自立支援法により医療やサービスの利用料が受益者負担となり、障害者とその家族に負担が重くかかり、逆に自立を阻んでいる。市独自の減免制度創設と施設への補助を求める。

**答** 福祉全体についてもう一度チェックする必要がある。特に低所得者に対する福祉、負担、これについてはもっと議論をし、またそうした対策を講じる必要があると考えている。

### 山口学芸大学への補助

**問** 建設費に対する市の補助決定の前に建設に着手するのは問題ではないか。また小中学校への補助を削減しながら大学へ補助を出すのは優先順位が合わないか。

**答** 校舎建設に直接補助するのではなく公共性、公益性の観点から補助するもの。臨時的であり優先順位として妥当と考えている。

### 防災の充実

**問** FMラジオで山口の災害情報を提供できないか。

**答** FM山口と協議する。

## 地方自治法の一部改正について

公明党 原 ひろ子

**問** 法改正により来年4月から収入役を廃止、助役の名称を副市長に改める。また使用料などがクレジットカードで納付できるようにするようだが、これらについて本市の考えを問う。

**答** 副市長を置くことについては、時代の要請に対応したものであり、定数や職務について検討していく。カード納付については、調査研究していく。

### 行政改革について

**問** 特殊勤務手当について本市も見直しをすべきではないか。

**答** 本年度策定予定の山口市集中改革プラン、山口市行政改革大綱に基づき全面的な見直しを図っていく。

### 交通安全対策について

**問** 福岡市で発生した飲酒事故以降も飲酒による事故が多発している。本市としても対策ができないか。

**答** 家庭、地域、職場が一体となって取り組み、飲酒事故のない社会の実現に努めていく。

### 子育て支援について

市民クラブ 須子藤吉朗

**問** 子育て支援について、お母さん方のアンケートでは、経済的負担が一番大きいと答えられている。

**答** 県内自治体の中では、周南市の保育料は？人目からは無料である。子育てに自治体間でサービスに差があるのは、私自身いかなものかと思う。

**問** 本市では、合併後の保育料の調整も行われる予定になっているが、合併協議でよく言われるサービスは高い方へ負担は低い方への立場で取り組むべきだと思うがどうされるのか。

**答** 保育料の設定に関しては、国の徴収基準を基本としながら細分化し、経済的負担の軽減を図っている。合併後の保育料の調整に対しても今後の大きな課題として、どう調整すべきか、事前に十分な調査や考え方を準備して、子育て家庭の経済的負担の軽減について、他市の動向などを踏まえ、研究する。

### 合併による不公平感の克服と一体感の醸成

日本共産党 菊地 隆次

**問** 新市の一体感は、合併による不公平感の克服なくして困難と思うが見解は。

**答** 合併したから生じたものとはいえない。厳しい財政なので経費を削減し、その効果をサービスに向ける。

**問** 総合支所の体制見直しはどうか。

**答** 現状においても住民サービスが低下しないように対応する。

**問** 旧山口市が対象の「ちびっこ広場設置補助事業」を全市で実施しないか。

**答** 地域からの要望やニーズがあれば柔軟に対応する。

**問** 小郡上郷公民館等の建設はいつになるのか。

**答** 新市としての生涯学習施設全体について計画的に進めていくこととなる。

**問** 名田島小学校の統廃合の有無は。地域や関係者の声は反映されるのか。

**答** 「学校適正規模配置検討委員会」からの提言と、地域、関係者の意見を伺って施設整備を進めたい。

### チャイルドシート購入助成について

公明党 佐田 誠一

**問** 平成12年に6歳未満の児童を対象にチャイルドシートの装着が義務づけられ全国的に多くの自治体で購入時に助成をしているが旧山口市と旧阿知須町では実施していない。平成19年度より山口市全域で人命尊重と少子化対策の両面から購入助成について問う。

**答** チャイルドシートの着用が義務化されて既に6年が経過し制度が定着していることから、全市域に補助制度を拡大することは慎重に対応するべきと考える。今後は他市の状況も参考に研究する。

**問** その他の質問

○住民要望の取り扱いについて

○防災緊急ヘリコプターの有効活用について

○中心市街地活性化について

○借り上げ型市営住宅制度の詳細

○山口市芸大学補助金について

### 明るいまちづくりについて

新世紀クラブ 藏成 幹也

**問** 市が管理する公園は73カ所あり、防犯のための街灯も設置されているが、安心・安全のため、また、防犯灯の設置要望も数多くあることから、今後、明るいまちづくりのためにも年次の計画で設置してはどうか。

**答** 明るい公園整備事業により太陽光発電の街灯を設置する。今年度は、河原公園、馬木領公園など16基を年次計画的に整備する。明るいまちづくり推進事業で、積極的に各自治会に防犯灯の設置をお願いし、昨年の実績を上回り、市民には大変好評をいただいている。

**問** 榎野川左岸道路の拡幅整備について、今後のスケジュールを含めて伺う。

**答** 秋穂渡瀬橋交差点から市浄水センターまで、堤防等を活用し幅員約6メートルで整備する考えで、今年度中にも現地調査に着手し整備を進めていく。

### 夕張市の財政破綻から学ぶべき点について

新世紀クラブ 小林 訓二

**問** まちづくりを生かす視座 北海道夕張市は外来型開発を優先したことが主な要因と見られる財政破綻を起した。この現実を他山の石として真摯に受け止めて決断して楽観視できない財政状況にある山口市のまちづくりのあり方や今後の方向性についての考えを問う。

**答** かつての外来型開発と一線を画し、地域文化に根差した地域開発を行うことが重要との認識を持つ。歴史・文化・自然の恵みなど本市の豊かな地域特性を生かし、地元の資源・人材・資本を活用した内発型開発に主力を置きながら、足らざる分野においては外部活力の導入も図り、地域開発に努めていく考えである。今後の具体的なまちづくりのあり方や方向性については、現在策定中の山口市総合計画の中で示していく。

**問** 市民がここに住んでよかった、と思えるような山口市にふさわしい、まちづくりを進めていく所存である。

**答** 品目横断的経営安定対策における過去実績対象外支援策

○山口測候所の廃止について

○農業振興について

○小麦ニシノカオリの振興支援策

○山口測候所の廃止について

### 山口市学級施設整備方針について

新世紀クラブ 浅原 利夫

**問** 整備方針には、児童数の変化に対応した施設整備を検討するところがあるが、最も古い校舎を持つ名田島地区の早期建て替え要望に対し、今後の整備方針を問う。

**答** 名田島小学校について地域の方に不安を与えたと深くおわびするが、学校適正規模・適正配置検討委員会での検討後に結論を出したい。

一方、いわゆる南部の地域発展という長期視点を視野において、名田島小学校の存続するかしないかについては、あくまでも地元の意見尊重を最優先してほしいと教育委員会へお願いしている。

**問** その他の質問

○人口減少地域への振興対策について

○農業振興について

○小麦ニシノカオリの振興支援策

○山口測候所の廃止について



## 中山間地域づくりについて

公明党 村上 満典

**問** 山口市は合併により、徳地・仁保・小鯖地域を中心に面積の半分以上が中山間地域となった。市にとって、中山間地域の振興を図ることは重要な課題のひとつである。県では山口県中山間地域振興条例の制定や中山間地域づくりビジョンが策定されている。市が策定することが望ましいとされている、市独自の中山間地域づくりビジョンを策定すべきではないか。

**答** 均衡ある国土開発・保全の視点を含め、国・県・市を通じて総合的な施策を講じていく必要がある。今後、国・県に対し中山間地域対策について強く働きかけるとともに、市としての役割も十分果たしていきたい。こうした視点の中で、ビジョン策定についても検討していく。

### その他の質問

- 防災行政について
- 環境行政について
- 観光行政について
- 公共施設の改築について

## 県央経済圏構想について

新世紀クラブ 藤本 義弘

**問** 必要性と期待効果、取り組みを問う。

**答** 新山口駅を拠点とした広域交通ネットワークの整備による人口60〜70万人の経済圏を想定するもので、県道山口宇部線、小郡萩道路、国道2号線の拡幅などにより、時間、距離が短縮されることから交流の促進が想定され、経済圏の形成の期待度が高まると考える。その実現に向けては、中核都市形成における都市核づくりの着実な推進を図り、関係市町との連携の強化と民間レベルによる投資や交流の円滑化を図ってきたい。

**問** 都市機能の集積が必要ではないか。

**答** 一地域に経済圏を集積するのではなく、臨空型、港湾型といった機能分担を果たしながら、県央地域に行政区域の中心的役割を果たしていくことを考えている。

### その他の質問

- 防災対策
- 環境行政
- 本庁舎前庭の駐車場対策

## 山口市のひとつづくりについて

新世紀クラブ 田中 勇

**問** 我々日本人は、助け合い手を取り合って、我慢するときには我慢をし「世のため、人のために」と、程度の差こそあれ、今日をつくってきた。

いたずらに自己利益だけを主張する今の社会風潮や価値観を逆転させ、全体の利益を優先し、公の精神を大切に、相互扶助や社会奉仕を尊ぶ社会への回帰こそ重要と考えるが、本市のひとりについて問う。

**答** 戦後、利便性・効率性を追い求め、物の豊かさこそが幸せにつながると信じ、人として本当に必要な感性をはぐくむことをおろそかにしてきた。

人は、物の豊かさだけでは幸せになれない。感性の豊かさのもとに喜び、悲しみを知り、物に感動する心の醸成が、幸せ感、生きがい感、満足感につながる。

感性あふれる心豊かな人づくりをしていきたい。

## 氷上橋の橋梁整備について

山口未来クラブ 瀧川 勉

**問** 昭和23年2月に架設され、あと2年で60歳を迎えようとしている氷上橋の老朽化への歯止めは未解決のままである。欄干の上にガードパイプを設置して転落防止を先行していただいたことには感謝するが、安心・安全な通学路の確保の点からも、早期に橋梁の整備と分離型歩道橋の整備をお願いしたい。

**答** 平成16年度に地震に向けた調査設計を行ったが、さらに橋梁下部の詳細な調査が必要となり、昨年度に地質調査を実施し、現在、補修・補強の工法検討等とあわせて歩道橋の設置を検討しているところで、来年度に補修・補強工事に着手し、引き続き歩道橋の設置を進めていき、できるだけ早く供用開始を迎えたい。

### その他の質問

- 議案第28号（仮称）山口リサイクルセンター（破碎・選別処理施設）建設工事の請負契約の締結について

## 若宮町土地区画整理事業について

新世紀クラブ 伊藤 斉

**問** 補償に関する説明会及びアンケート調査の結果。また、今後の事業への取り組みの考え方及びスケジュールについて問う。

**答** 補償の考え方で、これまでの説明との差異については、関係者に不安感、不信感を与えたことに対し、改めて深くおわびする。

アンケート調査については、事業の早期着工を望む方がいる反面、過半数以上の方から厳しい意見を頂いている。また、今後のスケジュールについては、事業計画決定から事業完了までの期間に概ね10年を要すると考えている。

今後は、説明会及びアンケート調査の結果を真摯に受けとめ、誠意を持って合意形成、コンセンサスづくりに努め、まちづくりの主要役は地区住民であることから、みなさんの意見を尊重しながら、円滑に事業が推進できるよう引き続き努力を重ねたいと考えている。

## 市民家計負担増時代への対応について

新世紀クラブ 氏永 東光

**問** 今年度から税制改正、保険料改定等による家計の負担が増え、可処分所得の減少により市民生活に大きな影響が予想されるが、市はどのように考えているか。

**答** 個人市民税だけでも約3億5千万円の増となる。より一層の産業の振興、地域経済の活性化を図る。

高齢者の負担増に対しては、生きがい対策、地域福祉の充実を図る。

### 市民交通の考察

**問** 市民交通事業費の現状と目安について問う。

**答** 全体で約4億6千万円で、内訳の主なもの福祉優待バス乗車証交付事業で、2億円である。経費の積算については、市民交通計画で示す。

### その他の質問

- 財政健全化について
- 都市核、地域核の位置づけ
- 合流式公共下水道の改善策
- 就学援助費増加への対応
- 体位向上策の考察



**歴史都市の景観について**  
山口未来クラブ 入江 幸江

**問** 大内文化特定地域にマンションが建つという。今後、都市景観形成地区を大内文化特定地域まで広げることが急務と思うが本市の考えを伺う。

**答** 歴史的文化的資源が多く残る地域であり、住民の景観に対する意識も高いことから、市独自の条例からより強制力のある景観法に基づく地区指定やその拡大をも視野に入れ取り組んでまいりたい。



県庁から大内文化特定地域を望む

**その他の質問**  
○循環型社会について

- ・ 学校給食残渣の堆肥化
- ・ ごみゼロ実践行動計画
- 食育について
- ・ ライフステージに合わせた食育

**市民交通計画とコミュニティバスについて**  
新世紀クラブ 野村 幹男

**問** 市民交通計画の今後のスケジュールとコミュニティバスについての移動市長室等での要望の対応と今後の運用について問う。

**答** 交通の視点から有効な方策を見極め、来年度の早い段階での策定を目指す。

**問** コミュニティバスについては、地域に密着し市民生活を支える交通として効果の高いものと認識しているが、ルート延伸や新設については全体の計画策定中であり、体制が整うまでいまましばらく時間が必要である。

**環境行政について**

**問** 周布町資源物ステーションの資源物収集の現状と同様施設の今後の整備方針は。

**答** 周布町資源物ステーションの搬入量は、当初は1カ月46トンであったが、最近では1000トンを超えており、山口地域の資源物の約20%となっている。

今後は、毎年度整備し、市内に10カ所程度はまず設置していく。

**学校教育について**  
山口未来クラブ 新宅儀次郎

**問** 小中学校の9割が20年前に比べて家庭の教育力が低下していると受け止め、将来学力格差が広がると見ていることが、ある大学の基礎学力研究開発センターの全国調査で明らかになった。

**問** 山口市の小中学校では学力格差についてどのように思い、学力格差を広げないために今後どのように取り組んでいくのか。

また、学力テストをどのように生かしていくのかについて尋ねる。

**答** 子ども一人一人に学習指導要領の示された学習内容、いわゆる確かな学力の定着を目指して取り組みを進めているところだ。

また、学力調査の生かし方について、各学校が実態を把握し、指導方法の工夫改善につなげる。

**その他の質問**

○コミュニティバスについて

**循環型社会への取り組みについて**  
県都クラブ 有田 敦

**問** 循環型社会の構築について市長はどのように取り組んでいくのか。

**答** 現在の恵み豊かな地球環境を将来に引き継いでいくために、廃棄物、特にごみの排出抑制とリサイクルの推進を中心に取り組む。

また、広い意味での循環型社会にも意を注いで、その理念を総合計画に盛り込む。

**安心・安全なまちづくり**  
**問** 本市における公共施設の安全点検はどのように指示、管理されているか。

**答** 法定点検等による定期的な点検を行っている。また使用状況に合わせ随時安全点検を行っている。

**留守家庭児童学級について**

**問** 新一年生の受け入れについて不十分であるとの市民の声を聞いているが。

**答** 入学後一週間から一カ月程度は午前中に下校するが、それぞれ学校と連絡を密にし、隙間ができないように対応をしている。また、不十分な点については徹底を図る。

**土地区画整理事業と街路事業について**  
県都クラブ 杉山 眞士

**問** 矢原地区の土地区画整理事業の進捗状況はどうなっているのか。また隣接の若宮町の事業についても。

**答** 矢原町土地区画整理事業は、平成19年3月末をもって完了予定である。引き続き若宮町の事業について大変関係者に不安・不信任を与え申し訳なく思っている。今後とも関係者の方々と一層の合意形成を図りながら、事業実施に向けて努力したいと考えている。

**観光行政について**  
**問** 湯田温泉駅前に足湯を設置する考えはないか。JRの土地や泉源の問題があることは承知しているが。

**答** ここはJRの敷地になつており、用地の確保、配湯、維持管理等の問題があり難しい。今後の検討課題としたい。

**その他の質問**

- 防災対策について
- ばらまき防止について
- 中核都市づくりについて
- 行財政改革について
- 新年度予算編成について

**山口市国民保護計画について**  
日本共産党 須藤 果一

**問** この計画と本市に対する武力攻撃についてどう考えているのか問う。

**答** 国の受託事務として市が実施するいわゆる行動計画であるが、そもそも武力攻撃事態が発生しないよう国が外交努力などに努めることが最も有効と考える。

**最終処分場の次期候補地**  
**問** 環境審議会で審議する内容と選定のエリアについて問う。

**答** 循環型社会構築のため全市民的論議と処分場の構造等、より専門的視点で審議してもらう。候補地選定は答申の後に検討する。エリアは新市全体である。

**アナログ放送中止について**

**問** 本市への影響と対応は。

**答** 本年末までにすべての県庁所在地でデジタル放送が開始されるが、電波が届かないところが一部あり、今後関係機関に働きかける。

テレビ買い換えや低所得者対策等は5年の期間があるので国の動向を注視し、必要に応じて検討していく。

# 会派等活動報告

## 新世紀クラブ (15人)

表)	東光也	幹男	悟夫
利夫	永成	武田	中根
伊藤	幹訓	一郎	野村
兼村	小竹	中田	清山
小林	依田	原田	藤本
浅原	藤本	藤本	藤本

新世紀クラブでは、9月定例会で行った討論について報告します。

の観点から見ても非常に大切であるということ強く感じました。

大学の方向性と地域振興・地域活性化の観点から、市が政策判断された今回の施策に対して賛同し、これから大学との連携をより密に、より具体的に図るよう要請しました。

### 議案第1号・議案第39号に賛成

議案第1号の平成18年度山口市一般会計補正予算第3号については、山口学芸大学施設整備費助成事業費ほか、広報紙発行費や成人式開催事業費、さらには地域生活支援事業費をはじめとする補正予算であり、厳しい財政状況、限られた財源の中にあつて、これらの地域コミュニティの推進や障害者自立の支援充実を図る施策は、本市の基本目標である「幸せが実感できるまちづくり」のさらなる具体化、さらには生活者重視

山口学芸大学の開設については、助成要望の経緯、市の政策決定に至った趣旨、あるいは大学の地域貢献のあり方について議論が交わされ、これらを通じて、産・学・公・民一体となった教育のまちとしての視点が、これからのまちづくり

の視点で取り組まれる事業であると理解しています。

次に、議案第11号、議案第17号から議案第21号については、県下における一部事務組合等を統合し、これらの共同処理事務を一元的に処理する山口県市町総合事務組合の設立に関するものですが、このことは、今後のさらなる住民福祉の増進や事務処理の効率化・合理化に資するものであると認識しています。

次に、議案第12号の山口市企業立地促進条例の一部を改正する条例については、全国的な経済状況あるいは本市の状況を踏まえ、都市間競争の時代を迎えた産業振興の方策であること認識しています。

雇用の確保、税収増加、地域経済の活性化といった期待効果を実効性あるものにしていくためには、企業誘致活動の強化や積極的な情報発信に、引き続き取り組まれるよう要請しました。

次に、議案第28号の(仮称)山口市リサイクルセンター建設工事の請負契約の締結については、引き続き地元への十分な配慮のも

と、ごみの減量化と最終処分場の延命化につながる中間処理施設の早急な整備に、最善の努力をもって取り組むよう要請しました。

なお、それと併せて、今回の落札率が約61%、金額にして予定価格より約10億円下まわっていること、さらには性能発注ということを考えると、建設に当たっては、今後十分に協議を行い適切に執行されるよう申し添えました。

### 「医師看護体制の充実で、安全・安心の医療の確立を求める請願」には反対

この請願項目については、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」と同法に基づく「基本的な指針」また、「医師会の需給に関する検討会」でも報告されており、国、地方公共団体、病院等の開設者の責務として示されているもので、それぞれ既に施策推進されていることから、本請願は病院側と働く側との労使間の問題でもあり、地方自治法第99条に基づき国及び関係機関に対する意見書としてなじまないものとして、反対しました。

### ふるさとセンター

本議会での市政概況において報告がなされ、市民の関心も高く広く議論が展開された、山口郵便貯金地域文化活動支援施設「ふるさとプラザ山口」については、山口市が県都としての都市機能の整備充実にあつては、活動支援施設として当時の郵政省に要望し実現したものであり、平成9年の開館から今日までその役割を果たし、活用されてきました。

しかし、国の行革のもと、郵政省が公社化され、さらに民営化される中で、今回地域のまちづくりの一端を担う当該施設が一方的な方針決定のもとに廃止処分され

ることは、誠に遺憾であり、地方都市にとっては、まちづくりを進める上で大きな問題であります。

当施設の設置の経緯を踏まえると、公社は地方のおかれた状況を十分に理解し、山口市の意見を十分踏まえた上で協議を進められるべきであります。今日の状況は、本市として重要な政策判断を迫られている現実のものとして受け入れざるを得ませんが、これから市議会として、本市の政策的立場づけ、財政状況等を十分に踏まえ議論し、執行部とも協議をし、意見を申し上げていきたいと考えています。

## 県都クラブ (6人)

表)	青波	芳雄
伊藤	敦	右田
欣知	眞	昌治
原田	有	杉山
有田	杉	山

私共は有志6名で会派を結成し、日々市民の皆様の目線で活動を展開し、存在感のある会派として、新市のまちづくりに全力で取り組んでまいります。

### 《会派の目的》

- 一、行財政改革の推進
- 二、新市建設計画早期実現

- 三、新市の均衡ある発展
  - 四、新市の一体感の醸成
  - 五、中核都市30万県都の実現
- 9月議会においてはすべての議案に賛成するものがあるが、会派の意見として、議案第1号「平成18年度山口市一般会計補正予算(第3号)」のうち、山口学芸大学への補助金1億1千万円について次のように討論を行った。

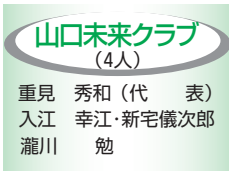


金は、本来、当初予算に計上し、補助を行う目的や使途が明確に示されるべきものであると考えるが、今回は、補正予算で計上するだけでなく、補正を行う根拠がいささか不明確ではないかと考えられる。

本年度の当初予算は、多額の基金を取り崩す、非常に厳しいものであった上に、合併後における制度の一本化という名目でいくつかの「決め事」や、予算措置が変わってきたことも事実である。

そういう状況下における同大学への補助は市民の皆様にとっても理解しがたいところもあるのではないかと懸念する。

しかしながら、市長は、山口市のまちづくり構想の



山口未来クラブは市民に開かれた市政の構築のため日々活動を行っております。

市の最高規範とされている「まちづくり基本条例」が平成21年度を目途に策定

中における「産・官・学」連携や少子高齢化が進む社会における学生への配慮、特に山口市から通学する学生が多いことなど、多くのメリットを提起、約束されましたことも理解し、また、未だ提出されていない大学側からの資料の精査を十分に行われ、予算執行にあたられるよう指摘して賛成とする。』と申し添えました。



山口学芸大学 Yamaguchi Gakugei College 校舎完成イメージ図

が予定されています。この条例は策定するだけが目的ではなく、市民に理解を得ながら市民とともに策定する。その過程にあるのだと考えております。そこで先進地を参考にすべく、8月8・9日に神奈川県大和市と東京都多摩市での行政視察を実施しました。

### 日本共産党 (3人)

須藤 果一 (代表) 隆次  
河合 喜代・菊地

**負担増への怒り代弁し市長に申し入れ**

政府の構造改革による税

制改悪で、高齢者は、所得は増えないのに税金が数倍にもなり、連動して国保料や介護保険料も値上げしています。

「年寄りには死ねっつちゅうことか」との声が寄せられるほど怒りと悲鳴が上がります。市役所には三日で千件を越す苦情や問い合わせが殺到しました。

日本共産党市議団は8月10日、渡辺市長に対して国に負担増の中止を求めると同時に、市として高齢者のくらしを守るための軽減策

### 公明党 (3人)

佐田 誠二 (代表) 満典  
原 ひろ子・村上

8月9日から11日の間に実施した行政視察について報告いたします。

今回は次の3点の課題を持って視察を行いました。①都市型温泉の観光行政について②最終処分場建設について③学校や公民館等が併設している

複合公共施設について

①静岡県浜松市館山寺は、「温泉まちなみ再生事業」に取り組んでいます。館山寺温泉の再生にあたり、官民協働による魅力ある沿道景観を整備することにより、交流人口の増加と市全体の広域的な観光振興を図るといっています。

②静岡県長泉町は、最終処分場の建設にあたり、処

をとるなど真剣に対処するよう求めました。



申し入れする市議団 [左から、河合、吉田助役、須藤、菊地]

た。

多摩市の「自治基本条例」は条例づくりのプロセスそのものが自治と考えられておられました。「多摩市の自治基本条例について」前文と全31条で構成されており「ですます」体の条文とされているのが特徴でした。



多摩市の担当職員

### 市民クラブ (2人)

藤村 和男 (代表) 吉朗  
須子 藤吉朗

市民クラブは、勤労市民、納税者の視点に立って、新しい山口の新たな、まちづくり、暮らしていくにむ

け、地域の利害を越え全市民的に取り組むために結成した会派です。市議会最小の会派ですが、存在感を失わないよう積極的に発言し、また提案できるよう研鑽を重ね、しっかりと執行部と対峙し、是々非々で臨んでいきます。さて、9月定例会では、本

会議、委員会を通して、行政改革の中核となる「山口市集中改革プラン」について、職員定数の適正化、民間委託等の推進のあり方等について執行部の考え方をたしました。

### 山本会(非会派) (1人)

山本 俊昭 (代表)

会派結成に際し事情あつて一人会派となる。

合併による市民の負の解消・市民間の一体感醸成である。市長は阿東町との先行合併努力・議員の強い意識改革こそ急務と考える。

「市民にとって頼もしく思える市議会」をめざして議会活性化に向けた取り組みをすすめます。

地方を取り巻く環境が一層厳しくなる中、本格的な地方分権時代の到来に対応していかなければならないのは、市長をはじめとする執行機関のみならず、議会としても同様です。

こうしたことから、合併協議に併せて調整した現行

の議会運営のルールや議会活動のあり方をさらに見直し、「市民にとって頼もしく思える市議会」をめざして、議会活性化に向けた取り組みをすすめることとしました。

このたびの「やまぐち市議会だより」の創刊も、市

民の皆様の目線から、必要とされる議会情報を積極的に発信するため、「山口市議会広報聴取委員会」や「市議会だより等編集委員会」において活発な議論を交わし、議員自らが直接編集作業を行いました。

また、本会議、委員会の運営方法等に関することを協議する「議会運営委員会 議会審議分科会」や、議員

活動の充実等に関する活動を協議する「議会運営委員会 議員活動分科会」の他、議会のIT化の推進について協議するための「市議会IT化推進研究会」を設置し、議会活性化に取り組んでいくこととしました。

市民の皆様が、より一層頼もしく思える市議会をめざして、議員全員が一丸となって取り組みます。

議会からのお知らせ

市議会ホームページでは、議会の構成やしくみ、会期日程や質問通告一覧などリアルタイムな情報のほか、本会議の会議録が閲覧・検索できる「会議録検索システム」を公開しております。市議会のホームページアドレスは、ページ下のとおりです。

編集後記

やまぐち市議会だよりは、合併に伴い、編集体制と紙面を一新し、創刊号として発行することになりました。多くの市民の方は、「市議会ってどこでどんなことをしているの?」という素朴な疑問も多くお持ちではないかと思えます。市民の皆様には議会の活動内容を知る権利があり、また議会には市民の方に議会の情報を伝える義務があります。今後は、さらに議会の内容や活動を広く伝え、皆様と議会との架け橋となる市議会だよりを目指します。どうぞお気づきなどございましたら、お寄せください。

「会派」ってなに?

議会内において基本的な政策が同じである複数議員の集団のことをいいます。

山口市議会では、2人以上の議員が所属する会派を本会議の運営などについての協議に



参加することのできる議会運営上の「会派」として位置付け、この「会派」を中心に議会内の意見調整を効率的に進めていく方法、いわゆる「会派制」を採用しています。

議会内での諸課題について、議員全員の意見を集約することは大変な時間と労力を費やします。その点会派が結成されていれば会派内で議員の意見が集約されているため、会派の代表者間で協議、調整することが可能となることから、課題を効率的に解決することや、さらに、組織的に活動することで政策内容の充実や議員の資質向上にもつながるというメリットがあります。

現在山口市議会では6つの「会派」が結成され、会派の所属議員数の構成数を基に、本会議場での議席の配席や、常任委員・議会運営委員などを割り当てるほか、議案の表決の際に会派内の賛否をまとめ会派としての意思を明確にして、円滑な議会運営に努めています。

「委員会」ってなに?

「常任委員会」と必要に応じ設置される「特別委員会」、議会の円滑な運営について協議する「議会運営委員会」があります。委員会の設置により、審議の効率化を図り、専門的立場でより詳しく審査や調査を行うことができます。

●常任委員会は、市の広範囲にわたる事務を合理的、能率的に調査し、審議するために、部門ごとにわかれて、議案、請願などの審査や市の諸課題の調査を専門的に行います。

<常任委員会の所管事項>

委員会	所管事項
常任委員会 <small>※全ての議員がいずれかの委員会に所属します。</small>	総務 総合計画、広報、文化振興、税、消防などに関わる事項及び他の常任委員会に属さない事項
	教育民生 市民生活、健康増進、福祉、教育などに関わる事項
	環境水道 環境施策、水道事業に関わる事項
	経済建設 観光、商工、農林水産、道路、都市計画、交通政策などに関わる事項

※常任委員会の所管事項については、委員会条例により総務部や市民部などの部局ごとに所管する事務によって決められています。

常任委員会の審査経過と結果は本会議で報告され、表決の際の議案に対する他の議員の賛否の判断材料となります。

●議会運営委員会は、円滑な議会審議が行えるよう会期や議案の取り扱いなどについての協議、調整を図ることや議長の諮問に応じ、議会活性化などについて調査、研究するために設置しています。

●特別委員会は、特定の事件の審査や調査のため必要に応じて設置することができ、山口市議会では、例えば決算認定の議案審査などにおいて設置しています。

編集委員

- 委員長 野村 幹雄
- 副委員長 右田 芳二
- 委員 小田 訓郎
- 委員 竹中 一清
- 委員 田中 勇郎
- 委員 原田 幸江
- 委員 有田 儀次郎
- 委員 入江 隆典
- 委員 新宅 儀次郎
- 委員 菊地 満次郎
- 委員 村上 典
- 委員 委員